浜松南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

記事紹介

特集　校則について　3面
磐田北高を訪問　2面
成功？野外教室　2面
どうなる生徒会　2面
文化部にも光を　4面
昇平先生宅では　4面
マラソン大会ノ　4面

力を振り絞って

秋空と応援の下で
日頃のストレス発散
〔体育大会〕

去る十月六日（火曜日）、さわやかな秋晴れのもと、五十六年度校内体育大会が本校グラウンドで開催された。午前八時四十五分過ぎから開会式が行われ、去年と少し違う三年二HR、二年一HR、十一HRという順序で入場行進を行った。学校長のあいさつの後、生徒会長のあいさつ、生徒代表の力強い選手宣誓、生徒会員によるラジオ体操が行われ、いよいよ競技に入っていった。

午前九時過ぎにはもう男子五百メートル走、女子二百五十メートル走などの予選がはじまり、各HRの選手たちはややも熱気であふれていた。またフィールド内では、走り高跳び、ボール投げ、砲丸投げの予選が行われた。男子の砲丸投げは女子のボール投げと違って、やはり力を必要とするので男子でもつらい競技だろう。

そしてレクリエーションでは、カードで相手を決め、二人三脚で障害物をのりこえ自転車、リヤカー、一輪車などでゴールするというものだった。自転車などはかなりうまくなっていたようだった。一年男子によるR対抗リレーでは、我々の日常生活にも大いに貢献しうべきものがあるのではないだろうか。

我々が南高に入学した頃は、憧れと希望で胸が躍り踊られていた。それがいつの間にか冷めてしまいたがる組体操はとてもきれいなピラミッドを作り拍手をあびていた。

そして迫力といえば、三年にとって、三年にとっては棒をおしである。第二同時に三年に向かっていき、あっという間に棒を倒す。男子ならばの白熱した闘技に応援の方も力が入っていたようだった。

また応援合戦の方も盛りあがっていた。おそろいのハチマキやHRユニフォームを身につけ、ポンポンなどで一生懸命応援していた。女子のクラスの中では学生服をきて応援団風な感じでがんばっていたところもあった。一年生も二三年に負けないくらいにまきこまれていた。

午後のプログラムの前には恒例の仮装行列が行われた。どのクラスも個性があり笑いをさそっていた。たとえば今人気の「良い子悪い子普通の子」や「アラレちゃん」などがあり、他にも「ロックンローラー」「水戸黄門」「ムカデ」などがあり、また男子の女装姿もありそれは結構様になっていたようだった。

午後の部の最初は一年生による高校生体操だった。少し緊張気味のように見えたが、全員きれいにそろっていてよかった。

そしてやはり午後の部の中心は各最校の決勝戦である。応援の方も一段と熱が入り、千葉を寄せる救いの手たちも一生懸命だった。学年たてわりリレーなどは三年、二年、一年が努力し一つになってがんばっていたのが印象的であった。スウェーデンリレー、HRリレーなどはそのクラスはもちろん人たちも声援をおくっていた。

そしてまた熱気と興奮が残っている中閉会式が行われ、各成績が発表された。自分たちのクラスの名前でるたびに拍手がおこり、歓声が上がった。皆の自分のできる限りの力を出しきったというその顔はどこでも美しかった。

三年生にとっては最後の体育大会になった。今年だけではなく、いろいろな風い出が残っていることだろう。力いっぱい走ったこと、一所懸命応援したこと、喜びの涙やくやし涙を流したこと……。

こうして高校生活の中での大きな行事の一つ、体育大会はいろいろな風い出を残し幕を閉じた。

なお、全力を尽くした主な結果はの通りである。

「総合順位」
男子
一位　34HR
二位　21HR
三位　32HR
女子
一位　1HR
二位　3HR
三位　27HR
「HR対抗リレー」
男子
一位　33HR
二位　15HR
三位　22HR
女子
一位　29HR
二位　27HR
三位　38HR

▲激走／HRの名誉を賭けて

後に残った多くの課題

さて、この体育大会について考えてみよう。今年の体育大会は去年と比べてみると、二つに応援合戦があったということである。

今年は去年と違って応援が毎年によるということもあってか、各クラスごとまとまった応援をしていたようである。やはりこうしたことは大会を盛り上げるものとして必要なことであろう。

また、来年は創立二十周年なので、それ関係者たちも取り入れたら良いと思う。また生徒だけの体育大会ばかりでなく、先生方にも参加できる大会になれば面白くなると思う。リレーなどでは先生方も一緒に走ることもあるがそれだけではなく、先生方の専門の種目を考えてみるのも大会を盛り上げることになるだろう。

レクリエーションについては毎年同じようなものでマンネリ化しているような感じである。やはり生徒会の工夫や全校生徒の意見などをもとにして、面白いものを作っていってほしいものである。

これからの体育大会はやはり、みんなが参加できる体育大会にしたいものである。そのためには、生徒会員にがんばってもらい、一般生徒も協力していかなくてはならないのである。

真剣に砂遊び
団結の象徴
〔砂の芸術〕

去る九月十日に、わが校恒例の砂の芸術が炎天下で行われた。三時間ぶっ通しで、昼食を済ませ体育館に集まって徒歩で米津浜へ向った。

到着後、浜の清掃を30分ほどしたあと、各クラスに分かれ、クラスで決めた題材を製作し始めた。水をふむ人、砂を運ぶ人、各人が役割りをはたしたりする人、各人が役割りを果たしていた。

広大な海を目の前にして、皆の顔はいきいきとしていた。特に、一つのものをつくりあげている姿は逞しく輝いていた。

昨年のこの行事が、自然の偉大さを知ったとのことから、一、二年生にとっては初めての「砂の芸術」であり、三年生にとってはこれが最後のものとなった。一見、幼児の砂遊びを連想する行為だが、公園の小さな砂場で小山にトンネルを掘るのではなく、広大な海を背景に、約十二・五メートルの四角いリングのように囲まれた中で、自然の砂をいっぱいに使って、かつ全体をシャベルのようにして一つのものをつくるのだから、スケールがちがう。

この砂の芸術を作る前までは、「なんで幼稚っぽい砂遊びなんか高校にまでなってやらなければいけないよ」などという声も聞かれたが、いざ始めると、鍬や手を使だけにしたり海から水をバケツに入れる時に、高波をかぶり足をとられたりで、びしょびしょになっている生徒もいたが、誰一人として、この砂の芸術に不平を言う者もなく、それどころか、夢中になって黙々と各人受け持った仕事をしていた。

私が自己ベスト作品を作ってみると、「カメ」、「校章」、「先生の顔」、「ガメラ」、「ムーミン村」、「カエル」、「十日玉」「武蔵野」などがあった。どれもすばらしい作品ばかりで、これだけのものを、一人で作れと言われても、「ハイ」と素直に返事ができないのが、率直な感想である。やはり、クラスの手がまりの成果があったからこそできた作品であり、クラスの手ごたえがあった。それと、暗い受験地獄の中にいる二年生の顔にも久しぶりに笑顔が見られ、人の心をあれほどまでに開放させてくれる大きな自然色に、もっと人は憧で憧れるべきだと感じた。

▲意心にかえって

論説

あくなき挑戦者精神

十一月十四日、八人乗りの一員として参加し、その十四時間三十分余にわたる大空の中の大冒険の末、「ダブルイーブルV号」が前人未到の気球による太平洋横断に成功した。このことはまだ皆の記憶に新しいのではないか。

気球に乗って太平洋を渡る――科学の発達が著しい現代では童話のストーリーの様に夢のある話である。この冒険を実現させた舞台裏には、綿密な計画と細部にまでわたる装備等があげられる。しかし前回の失敗にもめげず、再度この冒険を試みた挑戦者精神が今回の成功の最大の原因であると思う。この冒険の提案者、ロッキー青木氏の略歴について少し述べておこう。

昭和三十四年、日米親善アマンのチェーン店を持ち、昨年の年商は約百四十億円以上で全国ランキング（億万長者）リストにも載った。

略歴が示しているように、彼にとっては気球の冒険だけでなく、人生すべてが挑戦なのである。

このように世界に飛躍する、現実にぜんしている。これは、いつ頃からであろうか、南高生の伝統とまで言われるようになってしまった。現在の二年生も来春の新入生もまた同じ夢を繰り返し続けるのだろうか。南高も創立十九年を迎え、先輩方の夢が実り、ある程度まで学校は伸びてきたが、

負債でも可能とならば、南高生の伝統を自負す。あらゆる種類の人間（注意のようにヨコヅナを目指す。ところが、そこに行き着いた二学期になって、交通マナー全国

年に待っているのは下へ落ちて行くという結果に陥られているのである。この状態が一番怖い。我々で現在の南高を発展させいく事はおろか現状を維持していく事さえ不可能であろう。現在の南高はどの立場にいるのではないだろうか。ある意味で使った南高はいつまで経過されているようである。先生がたも参加できる大会になれば面白くなくなると思う。リレーなどでは先

寒さの厳しい冬を迎えようとしている。南高生が立ち向かっている。

現在の南高を発展させるためには、まず、一人一人が挑戦者精神を失ってはいけない。

「伝統」――我々はこの言葉に押されて、南高生が立ち向かっている。

のは挑戦者精神であることは先に述べた。しかし、ドン・キホーテのような挑戦では何らプラスにならない。挑戦するという意味には、何一九%成功する見通しがなければならない。ただがムシャラに突進するだけでなく、冷静に成功への道を築いていかなければならない。この大胆かつ繊細な挑戦者精神が真の南高の伝統を形成して行くに違いない。

我々はいたに乗って過ごすかを考えすぎている。それでは成功はあり得ないだろう。かと言ってただ動くだけでは無駄になってできる。これをプラスされる何かを見出してこそ成功へとつながるのだ。

南高は来年創立二十周年を迎える。これを良い機会に挑戦者精神を今一度持ち直し欲しい。南高はまたまた伸びる可能性を十分に秘めている。その可能性を引き出すのが我々の役目である。その気さえあれば九〇%ではなく一〇〇%の成功もあり得る。

何事にも「挑戦者精神」を持ち向かっていくことや。

（K・S）

教育実習生より一言
良きアドバイス

九月の初め頃に、二週間という短期間の研修をされるために今年も、わが高の卒業生である、教育実習生、八名の方が、おいでになり、私達と共に、実習をされた。

年齢もさほどはなれてはいないし、まして、わが高の卒業生となると、割近者がわいて、実習生の方と交流を持った人もあると思う。

では、簡単ではあるが、お一人ずつ紹介します。

▼相曽厚志　保健体育担当
昭和三十六年六月四日が誕生日。現在、早稲田大学教育学部の四年生。
在学当時と比べ、まち南高独特の「自主性のなさ」が残っていると、厳しい感想をのべておられた。そして実習生の立場になってみて、高校時代の大切さが私達に教えてくれた。

▼伊藤信康　社会担当
変わらぬ、自由の風潮が続いていると言っておられ、在学中には、その風潮を生かして、部活動や行事に参加し、次人とどんな事をしたのか教えていたけなかったが、いたずらをしたり討論をしたりという、思い出深い高校生時代を送ったそうだ。

▼大石利貫　社会担当
東京での生活も慣れたようだ。だが「角の本屋（文房具店）行くのでさえ、迷ってしまうところ。」と、言っておられた。今でも、時折、訪れてくださっている。

▼大場敏子　英語担当
輪を持ったという、思い出深い高校生時代を送ったそうだ。

▼大谷正家　社会担当
東京大学で、主に米学（ユダヤ作家）を中心に勉強に励んでいるそうだ。当時は、今のように個人のロッカーがなく、机の中身がいつもいっぱいで、点検が行われる時には、教科書、参考書等多くのクラスへ寄ってきたっけ。あったっけ。それと言ったことを感慨させます。水面、竹木、吐く息……あらゆる所に冬の顔が見られますが、春数なく咲きつけるこの頃ほど意地悪なものはないでしょう。▼冬は冷たさ、厳しさと共に、ある種の美しさを秘めている季節です。

木の葉等ら尽くせば、数十里の方遠にわたる林が一時様体になって、若葉んだ冬の空が高くこのに垂れ、武蔵野一面が一種の沈黙に入る。空気が一段澄みわたる。遠い物音が鮮かに聞こえる。

これは東京山独歩の「武蔵野」の一節です。ここには日頃私達が寒さの中に見落しがちな冬の美しさが的確に述べられています。それは少し注意を払えば誰もが味わうことのできる身近なものではないでしょうか。一度、冬の空を見あげてその美しさを味わってみたいものです。▼反面冬は嫌われ者です。〝冬来たりては春遠からじ〟といわれるように誰もが冬になると暖い日ざしをまりを求め春風を待ち望みます。そして冷たい風を避け春の訪れを待ちわびています。でも幼い頃を思い出してください。寒い季節がこんなにも嫌いだったでしょうか。真冬の凍るような空気の中で、白い息をはずませて遊んだ鬼ごっこやかくれんぼ。随分昔のことのようで、少し淋しい感じがするのは一歩大人に近づいたからでしょうか。▼そんな冬に比べて春は生き物達が待ちわびる、明るく活気に満ちた季節です。冬がなければとよく私達は考えます。けれどもそうあるからこそ春がこんなにも良い季節なのです。冷たい季節が長ければ長い程、春の暖さがうれしく思われる様に、冬がなければ春がこんなにも待ち遠しいことはないでしょう。かといって春がなければ私達は冬の厳しさに耐えてゆけません。自然は今のままで釣合っています。都合よく人間の思い通りにならないものです。▼私達の生活の中でも同じことがいえます。今まで生きてきた二十年足らずの短い時期の中で、思い通りにゆかず口惜しい思いをしたことが何度あったことでしょうそうの悔やしさが私達を経験する度に私達は少しずつ成長してきたのです。これからの長い人生の中でも何度も同じ思いをするでしょう。そしてその悔やしさが私達をより強い人間へと導いてくれるのだと思います。何もかもが自分の思い通りに成功した人よりも、何度も何度も失敗してやっとひとつの事をやり遂げた人の方が立派な強い人なのではないでしょうか。そんな事を考えているとある歌を思い出します。「思い通りにのけば物語にも出来るが思い通りにゆくのは物語の中だけさ」▼年が明けると春はもう間近です。時の書きるのは恐しく速いものです。今までの冬をもう一度振り返ってみてください。冬を迎えることを考えるより春に向って行くことを、春の交度を考えてみてください。春になってからでは遅いのです。この冬、何か始めてみませんか。そんな時こそ動が美しく見えるのでは。

▲意心にかえって

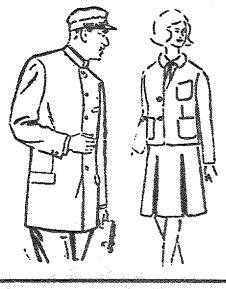
遠州灘

▼吹きつけるから風に冬の厳しさが感じられる今日このごろ。遠州地方では雪こそ降りませんが、この〝から っ風〟が冬になったことを感じさせます。水面、竹木、吐く息……あらゆる所に冬の顔が見られますが、春数なく咲きつけるこの頃ほど意地悪なものはないでしょう。▼冬は冷たさ、厳しさと共に、ある種の美しさを秘めている季節です。

スポーツバック・スキー用リック・旅行靴
の御用命は
浜松駅前広小路通り
辻　梅
TEL 52—6015, 53—3362

文房具・事務用品・事務機器
隆文堂文具店
浜松市大工町148 ☎(0534) 52-2654 52-2901

貴方の個性をひきたてるきもの
御用命は是非当店へ
美しいきものと帯
やまいち呉服店
浜松市中島大浜通り
TEL 0534 63 0093
エイコー中島店西


御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃 夏スカート
〃 コート
男子制服詰エリ
生地純毛日毛カシドス地
〃 ギャバ地
御調製
大森洋服店
浜松市佐藤町　TEL(61)3288

生徒募集　お帰りが便利・モダンな教室
いけばな・フラワーデザイン教室
池坊・草月流・小原流
松風流・宝心流・吉流
（入会随時・案内申込書有）
花徳
教室・東田町店2階
遠鉄浜松駅南
電話52—9086

生徒の自主活動を望む

中西会長を軸に

〔生徒会〕

十月に発足された後期生徒会。中西晃会長を中心に奮闘してきたが、早くも二万月を経た。後期は前期と比べ地味な活動ではあるが新鮮な意気込みを見せている役員は全て二年生。異色とも言えるメンバーを揃え、今までとは一味違う風を吹き込んでくれることと、大いに期待しよう。これは任期の半分を経過させた時点での反省及び抱負を語ってもらったものである。

▲中央が中西会長

▽生徒会長
22HR　中西　晃
風立ちぬ……。今は秋。みなさまおかわりはないでしょうか。会長になっていろいろな事がありました。その間に、会長の任務の重さ、またそのおもしろさ、またまた、生徒会運営のむずかしさを知りました。
今まで、成功したこと、失敗したこといろいろあったけれど、これらすべては、生徒会運営の糧、将来の糧として、明日にむかってはばたくでしょう。明日にむかってはばたきましょう。みなさん

▽副会長
24HR　椿川雅之
副会長になって、二万月たって、風のたとはの体育大会を終え、生徒会役員の仕事はプレッシャーがかかり、けっこうたいへんなこと。の業務的なことが多いこと。
抱負は副会長自身の仕事がもちろん、会長や各員を補佐的に手助けをしたいと思う。（おと、まれに以外は何もつかれません）
しかし、意欲に燃えている体育委員長は、そういった雰囲気（自分で書いて意味がわかりません）にもうけず仕事を探してみたのです。すると、器具庫の掃除とかグランドの整備とか、小さなことだけど、今までにはない体育委員長としてがんばってみたりしようかなーなんて考えています。

▽文化委員長
24HR　鈴木宏之
文化委員には、何をするのだろう。修期では、主だのは学長会である。学長会は今年は二月中旬にあるのでいつもより早く仕事を始めなければならないだろう。しかしその他に何をしたらよいか、未だわかっていない。仮日生徒会室へ行って協議したりしている。他の生徒会役員も何をしたらよいか悩んでいる人は、あまりいないだろう。早く生徒会とは何かということを理解できるようにしたい。

▽生徒会長
22HR　中西　晃
風立ちぬ……。今は秋。みなさまおかわりはないでしょうか。会長になっていろいろな事がありました。その間に、会長の任務の重さ、またそのおもしろさ、またまた、生徒会運営のむずかしさを知りました。
今まで、成功したこと、失敗したこといろいろあったけれど、これらすべては、生徒会運営の糧、将来の糧として、明日にむかってはばたくでしょう。明日にむかってはばたきましょう。みなさん

▽副会長
24HR　椿川雅之
副会長になって、二万月たって、風のたとはの体育大会を終え、生徒会役員の仕事はプレッシャーがかかり、けっこうたいへんなこと。の業務的なことが多いこと。
抱負は副会長自身の仕事がもちろん、会長や各員を補佐的に手助けをしたいと思う。（おと、まれに以外は何もつかれません）
しかし、意欲に燃えている体育委員長は、そういった雰囲気（自分で書いて意味がわかりません）にもうけず仕事を探してみたのです。すると、器具庫の掃除とかグランドの整備とか、小さなことだけど、今までにはない体育委員長としてがんばってみたりしようかなーなんて考えています。

▽文化委員長
24HR　鈴木宏之
文化委員には、何をするのだろう。修期では、主だのは学長会である。学長会は今年は二月中旬にあるのでいつもより早く仕事を始めなければならないだろう。しかしその他に何をしたらよいか、未だわかっていない。仮日生徒会室へ行って協議したりしている。他の生徒会役員も何をしたらよいか悩んでいる人は、あまりいないだろう。早く生徒会とは何かということを理解できるようにしたい。

▽副会長
24HR　椿川雅之
副会長になって、二万月たって、風のたとはの体育大会を終え、生徒会役員の仕事はプレッシャーがかかり、けっこうたいへんなこと。の業務的なことが多いこと。
抱負は副会長自身の仕事がもちろん、会長や各員を補佐的に手助けをしたいと思う。（おと、まれに以外は何もつかれません）
しかし、意欲に燃えている体育委員長は、そういった雰囲気（自分で書いて意味がわかりません）にもうけず仕事を探してみたのです。すると、器具庫の掃除とかグランドの整備とか、小さなことだけど、今までにはない体育委員長としてがんばってみたりしようかなーなんて考えています。

▽文化委員長
24HR　鈴木宏之
文化委員には、何をするのだろう。修期では、主だのは学長会である。学長会は今年は二月中旬にあるのでいつもより早く仕事を始めなければならないだろう。しかしその他に何をしたらよいか、未だわかっていない。仮日生徒会室へ行って協議したりしている。他の生徒会役員も何をしたらよいか悩んでいる人は、あまりいないだろう。早く生徒会とは何かということを理解できるようにしたい。

▽副会長
24HR　椿川雅之
副会長になって、二万月たって、風のたとはの体育大会を終え、生徒会役員の仕事はプレッシャーがかかり、けっこうたいへんなこと。の業務的なことが多いこと。
抱負は副会長自身の仕事がもちろん、会長や各員を補佐的に手助けをしたいと思う。（おと、まれに以外は何もつかれません）
しかし、意欲に燃えている体育委員長は、そういった雰囲気（自分で書いて意味がわかりません）にもうけず仕事を探してみたのです。すると、器具庫の掃除とかグランドの整備とか、小さなことだけど、今までにはない体育委員長としてがんばってみたりしようかなーなんて考えています。

▽文化委員長
24HR　鈴木宏之
文化委員には、何をするのだろう。修期では、主だのは学長会である。学長会は今年は二月中旬にあるのでいつもより早く仕事を始めなければならないだろう。しかしその他に何をしたらよいか、未だわかっていない。仮日生徒会室へ行って協議したりしている。他の生徒会役員も何をしたらよいか悩んでいる人は、あまりいないだろう。早く生徒会とは何かということを理解できるようにしたい。

自然とのふれあい

歴史を求めて

去る九月十八日から二十一日まで、南高最大行事の一つである、野外教室が、二年生によって行われた。目的地は、乗鞍、御嶽と二手に別れ、それぞれバスや新幹線などを使い、国立青年の家に向った。
この野外教室のねらいは基本的生活習慣の確立、集団生活における自由と規律の体得、人間関係の育成、大自然の素晴らしさの感知ということであり、この研修を通して、雄大で美しい自然の姿に触れたり、友人の意外な一面を発見したり、規律ある集団生活を体験することができた。これらのことは、これからの高校生活において、たいへんプラスになったと思う。
しかし、私達にとって、このような経験も大切であるとは思うが、やはり、修学旅行がないというのは残念である。この修学旅行というものは、私達が学校生活の中で、最も楽しみとしているものである。ところが、南高にはこれがないため、ほとんどの人が、他高の生徒から、修学旅行の楽しかった思い出話しを聞いては、寂しい思いをしていることと思う。しかし、野外教室で得た事――それは人それぞれ違うだろうが、修学旅行に劣らないものであったことであろう。
ところで、来年の二年生が体験する野外教室は、誰に知れず、乗鞍だけのようだが、皆が同じ所で、同じ体験をすることも、またいいものを得ることだろう。

▲初秋の五色沼

▲飛騨の里にて

乗鞍

第一日目、真っ青な空の下、ちょっぴり興奮気味のみんなを乗せバスは、乗鞍に向かって発車した途中、上郷サービスエリアや金山などで休憩をとり、予定より三十分以上遅れて、やっと目的地に到着した。乗鞍青年の家は、まだ意外と新しく、きれいであった。夕食後、オリエンテーリングの事前指導が行われた。
二日目、朝、目が覚めて外を見ると、雨が降っていたので、みんなオリエンテーリングが中止になると喜んでいたが、そん体期待は空しく破られ、雨天の中オリエンテーリングが行われた。しかし、このような天候のため、ころんだり、すべったりした人が多く、みんな帰ってきてからの談話に大わらわだった。自縛細工の方は、各自思考どおりし、いろいろなものを、煮たり楽しんで作っていたが中には、手を切ったりしてけがをした人がいた。
三日目、天候も回復し、みんなが一番楽しみにしていた高山市内グループ研修が行われた。まず初めに、会員で飛騨の里を見学したことは、静かで落着いた感じがあり、中でも、合掌造りの家が一番人気を集めていた。しかし、この飛騨の里でとんだハプニングが起こった。それは、あるクラスのバスが故障して、修理をしに行ってしまったのである。このため、そのクラスの生徒は、他のクラスのバスに分乗して次の目的地に向かうことめられグループで決めておいたコースに従って、陣台会館、高山陣屋、日下部民芸館、春慶会館などを見学した。しかし、中には、どこも見学せずに、古い町並が続いている三町筋でおみやげを買っただけの人もいたらしい。
いよいよ最後の日、宿の外には眠気を覚ますほどすばらしい雪景が広がっていた。朝食後、青年の家に別れを告げ、飛騨大鐘乳洞に向かった。大鐘乳洞は、神秘的で、見所があり、とても すばらしかった。このあと、"いちい"というレストラン?で食事をし、午後六時三千分頃、浜松に到着し、楽しかった野外教室は終わった。

磐梯

九月十八日、午前十時十五分、浜松駅に集合。いつもより起床が早いため、皆眠そうな目をしていたが、その顔は磐梯での生活に夢を馳せているかのように希望に満ちていた。そして、七時五十分発の新幹線ひかり号で東京へ向った車内では早くも寝すぎるひと、トランプをしている人が多く見られた。二時間後、一行は国電を使い上野駅へ向った。あっという間に到着したが、郡山までのひかり9号には乗れず二時間四十分を乗り継げた。そしてバスに乗り、ようやく青年の家に到着した。長い旅に疲れたのか皆あまり元気がなかったようだ。到着後、所の挨拶をし、すぐ夕べのつどいを行った。その後夕食を済ませ、講演を聞いた。皆眠そうな死死に目を開いていたようだった。
一日目は天気があまり恵みしなかったが、各班に分かれ地図を頼りにコースを歩いた。と、やはり雨が降り出したが計画を続行した。各班は時計記念館で集合し、見学したが食事の方が主だったようだ。残念なことは、野口英世の家を建て直していたことである。
その後、一行はバスで五色沼へと向った。もっとの頃には雨が完全にあがっていた。沼の色が五色もないと文句を言っていた人が多かったが、それの色はとても鮮やかで、すばらしかった。その夜のHR交歓会では各クラスの唄や踊りそしてフォークダンスも行われた。一人ずつ加したロウソクの火はとてもロマンチックだった。
三日目はまずグループ研修で、会津若松市内を回った。白虎隊の墓、鶴ケ城、武家屋敷などを見学したが乗り物を使った班が多かったようだ。その夜、HR懇談会が行われ、実クラスは爆笑が絶えなかった。皆最後の夜に何を思ったのだろう。
こうして四日間は終わった。たくさんのお土産を手にバスへ向かう後の姿はどこも満悦しそうだった。しかし、この四日間で親祥正しい生活を見つけ、又一層友情を深めたことだろう。そして偉大な磐梯山、美しい猪苗代湖などの自然は、いつまでも心に焼き付くことであろう。

talk & トーク

憧れの女子校へ

――磐田北高校訪問――

去る十月三十日、私たち新聞委員八名は、東海道線磐田駅で下車し、十数分後に乗り自的地である県立磐田北高校に向った。
磐田北高校は、明治四十二年磐田郡磐田郡立実業女学校として開校した。その後の沿革として、昭和三十八年に保育科、十九年に衛生看護科が設置され今日の磐田北高校に至るが、歴史が浅いわが校に比べ偉大な伝統を感じさせてくれる学校である。
生徒総数千七十名、各学年普通科と保育科、衛生看護科、クラス子つとで構成されている。また、寮施内には保育園が付設されており、保育科の人たちにとっては実務を兼ねて勉強できるようである。
教育方針は、「女子の特性に適応し、母性をたたえた自己開発」を掲げている。
また、本校についての印象を尋ねてみた。しかし、残念ながら、やはりよい答えしかかえってこなかった。機械部門の長所義間しているとこではあるが、とどこでも本校の知名度は低いようである。
合市外にあるのだから無理もないと思うが、強烈な印象を与えるものが本校にはないのだろう。部活動、普活動、また年度一人一人において、少しでも本校の知名度を上げていきたいものである。
最後に磐田北高を訪問して感じたことだが、活気があり、何事にも真剣に取り組んでいるようであった。それに、私たちに温和感というものをあまり感じさせなかった。これは私たちがずうずうしかったこともあるが私たちと調和できる雰囲気がこの学校にあったためでもあろう。また、これだけの歴史と伝統の中にも未知への創造性というものが強く秘められているような気がした。
磐田北高は、まだまだ発展していくことだろう。創立七十二年に比べて、わが校の歴史はまだまだ浅い。南高の歴史と伝統が育れるものとなるよう。私たちの手で作り上げてゆかなければならない。市内でも新しい高校が次々と設立されている。その中に埋もれてしまわず、すばらしい生活を送れる学校であってほしいと思う。
こうして紙面を通じて磐田北高を紹介したが、少しでも磐田北高を知っていただけたなら幸いだと思う。

▲伝統古き磐田北高

本校に比べ部室もかなりあるようである。華道・茶道・琴なども見受けられ、作法を身につけるにしてもよい学校だと思った。
校内を案内してもらった。運動場は、わが校よりも大分狭かったが、設備はよかった。陸上部員の姿は見あたらなかったが、ソフト部とテニス部がかけ声とともに元気な活動していた。校舎の隅には米々が色づいており、すっかり秋の気配を感じさせた。
高きに位置するために、下を見降ろすと生徒が集う並んでいる様子がわかる。わが校が丘地にあるためか、私たちの目にはすばらしいもののように映った。
校舎は新しく、白という色を強く感じさせられた。五十二年に改築されたばかりであるよう。実しており、取材のあとがよくわかる。このため他校からの交換新聞が殺到しているようです。原稿は納得がいくまで書き直すそうで、普通五、六回は書き直すというこ。ここが私たちの遠いかもしれない。ペンを持って走る北新聞部の意欲が強く感じられた。
進学率も高く、短大の文系や専門学校が多い。校外テストでも優秀な成績を修めているようである。難関大学は難関無理の一、五倍に比べてかなり高値である。これは難関者数が進学者数に比べて少ないこともあるが、先輩たちの実績がこうした数値に結びつけたのだろう。
新聞を発行している。内容も充実しており、取材のあとがよくわかる。このため他校からの交換新聞が殺到しているようです。原稿は納得がいくまで書き直すそうで、普通五、六回は書き直すというこ。ここが私たちの遠いかもしれない。ペンを持って走る北新聞部の意欲が強く感じられた。
専門学校が多い。校外テストでも優秀な成績を修めているようである。難関大学は難関無理の一、五倍に比べてかなり高値である。これは難関者数が進学者数に比べて少ないこともあるが、先輩たちの実績がこうした数値に結びつけたのだろう。

9月5日(土) 27HR
敗戦の時　教師の発作がうしろでいっしょに騒ぎもった。
ともまちがえた先生だけとときどき、ひとりで爆笑。「……」と言ったので、こっちまで笑ってしまった。

9月10日(水) 26HR
今日は他の教師があって、全校生徒でプロレス来襲の浜へ行ったくたくたない風っていたが、時間がせまってくるとみんな必死になって砂をかためていた。しかし、やっぱり高校生になって、かめさんやらお山をつくるのは、はずかしかった。

9月14日(月) 14HR
加藤先生が復活、新しい丁髪のパターンが出たりして教室は大いにわいた。

9月17日(木) 24HR
英語の過試に合格した？
化学の実験がこわかった。
14HR
山口百恵姫誕か？

9月19日(土) 35HR
勉強は苦しい。勉強はこれもか、これでもかと容赦なく課題の上にのしかかってくる。だが、こんな苦しみも、甘、歌を苦しんだ人達の苦しみには、とうてんかはない。こんな幸和な日本で勉強していればいいとは考えられない。平和。

9月29日(火) 14HR
○○は生物の時間によく感動する。やはり、バセドー病患者だけあってまちもない。今日も何度か感動した。非常に迷惑なことである。
昨日、装飾部が「俳優の名前を覚えるより数学の公式を覚えなさい。」と言った。○○は俳優の名前もあっては知らない。やっぱりあっては知らないやつだ。装飾部にいえば、あの人もおかしな人。多少コメディアン化している。
装飾部いわく、「あきらめる前に考え一問」
「公式覚える前に考え一問」
「しゃべる前に考え一問」
なんのこっちゃ。
まだ、あった。
先生は「寝ないように文部省推薦の薬」と言う。……文部省推薦の薬？そんなものがあるか？"ねむけ覚ましー"文部省推薦であってたまるか？
知らず知らずのうちにとんなに書いてしまった。

10月1日(土) 1HR
朝早く起きて「ごろごろさまとか"えらい、えらい"とか言われて気分がかった。解剖！

10月8日(土) 24HR
クラブの時間、なるべくなのに寝込んでしまった。
先生曰く：「はっと目を覚ましてと星空を見た。」

11月17日(火) 21HR
今日のマラソンは、海岸線を走ってとても疲れた。天気がいいので、よけいにくたびれてしまった。でも、海は、晴れの日にはきれいなものだ。しかし、そんな余裕もあまりなかった。

11月20日(金) 35HR
明日はマラソン大会なので必ず朝食をとってきて、死なないようにしよう。

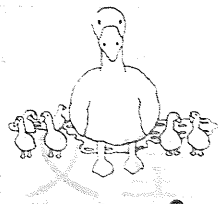
＜放送委員会＞ ラジオコンクール入賞

「放送委員会の皆さん、おめでとう！」と思わず拍手したくなるような今回の入賞であった。
これは東海ラジオ放送主催、高校ラジオ作品コンクールでの本校放送委員会制作の「ポランティアって何？」という作品が奨励賞に入賞したという一場面である。
高校生の創造力と表現力を高め放送教育に役立てようというのが主旨である同コンクールに、今年は県から七十数校もの参加があった。その中、本校は初の応募で入賞するに至ったのである。
ポランティア活動の原点を見つめ、身障者福祉を訪問取材した上での制作には、苦労は多かった。それを結晶しての受賞であるからこの喜びはひとしおであった。
十一月二日に表彰を済ませ、より一層、意欲に燃える放送委員会の面々。今後の活躍にも期待できそうである。

アニメ・ファンの君へ
新着フィルム8本上映！
イデオン。フィルム上映会
とき：昭和57年1月6日 12:00～
ところ：浜松労政会館
入場方法：アニメレコードお買上げの方御招待！
イケヤ
本店／浜松市田町有楽街☎(0534)52－5151
鍛冶町店／遠鉄名店ビル店／ユニー泉町店
磐田店／aiai磐田店／掛川店／袋井店／浜北店

晴れの栄冠をめざす受験生にいい宿をご用意しました。
交通公社の
受験生用旅館・ホテル
日本交通公社浜松支店
〒430 浜松市鍛冶町2 西武デパート前
営業時間 10:00～18:00(平日)・10:00～13:00(土曜)
☎(0534)53－2111
旅行業務取扱主任　石川国雄

今年のクリスマス、年末年始の楽しいわが家のパーティーに。
たとえば4人家族でお1人様800円の予算。
ケンタッキーならこんなに盛りだくさん。
楽しいパーティー料理がそろいます。
フライドチキン9本。アップルパイ4こ
ホットスイートコーン4本。サラダ(大)2コ
ケンタッキーフライドチキン
お問合せは
田町店☎55－1220
泉町店☎72－7275

DOWN ジャケットフェア開催中

グリーンスポーツ サーラ店
西塚町200番 ガスビルサーラ1F ☎65－1520

校則への若い叫び

規則について考える

生徒の言い分は

皆さんに御協力をいただいた、〝校則について〟のアンケートを普通科と商業科に分けて集計しました。その結果は次の通りです。

手初めに、「南高の校則は厳しいと思いますか。」

この質問に対し「ハイ」と答えた人は、普通科三十九%、商業科四十九%である。「イイエ」と答えた人は、普通科五十七%、商業科は四十四%である。

次に、「普通科、商業科の校則に対しての厳しさは変ると思いますか。」

これには、「ハイ」と答えた人は普通科三十六%、商業科三十九%、「イイエ」と答えた人は、普通科五十七%、商業科三十四%である。「ハイ」と答えた人の中では、普通科、商業科共に、服装が相違点であると答えた人が多くまた、お互いに相手の科の方が甘いと答えていた。

次に、「厳しいと思う校則は」という質問には、アルバイト許可、運転免許の取得、祭りへの参加が両科ともに多かった答えである。

次に、「自分では何パーセント守っていますか。」

これには、両科共に、九十～百%が最も多く、続いて八十～九十%、七十～八十%の順である。この結果では、ほとんどの人が守れているようである。

次に、「他人と比べ南高との違いは」という質問に、両科は、南の方が厳しくない、髪型、等学行、遅刻がないと答えていた。

次に、「改めてほしい校則は」これには、アルバイト、免許、祭り参加、頭髪が両科共に多く、普通科では、水泳見学者に対する補足というものもあった。

次に、「アルバイトで有益になることは」これも両科同じ回答で、お金が入る、社会勉強になるお金の大切さがわかる。労働の大切さがわかるであった。

次に、「運転免許取得について」の意見には、普通科は、取ってもいいと思う、必要がないと思うとはっきり分かれ、商業科は、取ってもいいと思う、自由にしてほしい、ほしい人は取ればいい、であった。

次に、「校則は何のためにあるのか。」という質問には、両科共に硬くなり、守るため、集団で生活するためなどであった。

最後の質問「不満に思う校則に対し、どう対処しているか。」これも両科同じで、破る、我慢する、適当、無視であった。

このアンケート結果を見ると、普通科、商業科はたいへん同じ意見を持っていることがわかると思う。

しかし、南高は、他校に比べて校則がゆるいと答えた人が多いにもかかわらず、こんなにもたくさんの不満を持っているのはどうしてだろうか。やはり、これらの不満は、皆にとって、面白味を持つことからだと思いたいのだ。

〝規則〟というものは、私達が本来して進学するにも、社会に出ても、ついてくるものである。から、後々までしっかり考えて、行動すれば、間違いは起こらないはずであろう。

今一度、〝規則〟というものについて考え、これからの高校生活あるいは、人生に役立ててほしいものです。

アンケートに御協力して下さった皆様ありがとうございました。

▲皆それぞれの意見を抱いて登校

先生の言い分は……

▽高柳先生

規則というものは、全く飛躍なものである。しかし、考えてみると、それは、自分勝手にしたいという エゴの感覚が強い規則を発生させているということである。それを、自分自身本来の感覚である。さらに、その感覚を、違いをしているのである。この時点で、欲望を導く規則というものは、まことに不自由なものと感じる。我々にとってなんとも、エゴをいかに落とし本来の自分を取りもどすかということである。エゴが落ちれば欲望を落ちる。すると、行動が自然に規則の中に入っている様子になるだろう。人の物を盗む必要はないし、挨拶をするのは当然のことになるのである。そこは規則という言葉すら存在しない世界となる。厳しい事を言いたが、私自身、規則のいらない社会になってほしいと願っている一人である。

▽内山先生

人間が一人だけで生活するなら規則がなくてもやっていけるとこころが、学校のように十人を越える集団ともなると、各人が思うがままに動いては、収拾がとれなくなる。そこでいろいろなルールを決め、動きを統一し混乱がうまくいくようにしなければならない。他人の自由を奪ったり、迷惑をかけては、集団の動きは保証しでしまう。人が集まる所はいろいろある。学校は学校としての活動がある。高校は高校としての社会的位置もある。そこで高校としてのルール――校則を作って、個人の自由の束縛はある程度うけるが、全体の統一を図っていこうと考えます。従って今日のように価値観が多様化し、目的意識が希薄になると、自分の所属しているはずの集団に対する帰属意識がなくなり、そこに投げる規則というものが、単に自己を束縛するものでしかないように感じられてくるのではないでしょうか。

校則にしてもそれは、校十九年の歴史の中でつくられたもので、創立当時の〝南高校生活がくりたい、かくあろう〟という意気が強く反映されていると思います。それらはもちろん時代に応じて改訂されて然るべきでしょうが、ただ、〝意志の場〟という立脚点を忘れた、安易な改訂は慎むべきでしょう。

▽西原先生

規則とは、集団における物事の円滑化をはかるためのきまりである。そのルールは時と共に変わることもあるが、そのルールがどんな目的をもってできているかを考えてみると、それぞれの意義が見つけられるのではないかと思う。

▽西原先生

規則とは、集団における物事の円滑化をはかるためのきまりである。そのルールは時と共に変わることもあるが、そのルールがどんな目的をもってできているかを考えてみると、それぞれの意義が見つけられるのではないかと思う。

▽西原先生

規則というものが、単に自己を束縛するものでしかないように感じられてくるのではないでしょうか。

▽山本昇平先生

校則に縛られず、規則なんて無いがいいにきまっている。自由でありたいと率直に誰しも願っている。しかし、人間が集団で生活する場合、自己の利害だけを考えたり、時には他人を犠牲にしても自分だけをかわいくなったり行動しがちだ。誰しも自分だけは楽をしたいと考えるものだ。集団生活における個人の自由はなんの範囲まで許容されるかを考えることが、すなわち規則を考えることになろう。

現在の様に高校生が幼児化、（精神的未熟）している実態を見ると、校則が強まることはあっても、ゆるむことはあり得ない。したがって、少しでも自由な高校生活を送りたいと願うのならば、集団の中の個人としての役割を自覚し、真の個人主義の確立の手立てを自覚に模索する以外、その道はないと思うがいかがか。

▽大石孝子先生

校則――守ればいいじゃないか。単純にそう思う。素直に従うことに抵抗もない。生徒手帳に目を通してみても一つ一つもっともだと思う。生徒諸君も内心はそう思っているんではないだろうか。（ちがうかな）

中にはどんな遠い所まで来なくても通うものがない駅でもないが、鉄道高校という二つの集団として考える場合、その中の一員として生活していく以上ある程度整備されるのは仕方のない事だと思う。だれが何をしようとそれはある意味ではその人の自由だ。しかしそれは往往にして「風ケ丘鉄道高校」ということになる。「南高はいい学校ですね」と言われたいと心密かに願っているのは私だけではないだろう。……最後に一言…若いみんなはそのままが一番美しいのです。

▽谷野先生

高等学校の校則としては、南高は標準的だと思います。生徒も全体としては常識に従っているのではないでしょうか。ただ、他の生徒に比べて真和感を感じさせる者がいることも事実です。規則とは何かということを自覚して行動することはなかなかむずかしいことです。よく南高の生徒たちは規則がきびしすぎるとか、もっと自由な校風にしてほしいといったことを口にしているようですが、なぜ規則があるのか一度だけでも考えてみたらどうでしょうか。自由と放縦とはまったくはいけません。自分で責任を負っていくことができなければ社会人として出ても通用しません。大人になればなるほど規則はふえていくものです。生徒諸君も規則が守れる人間、規則が守れることを誇れる人間になって下さい。

緩い南高校則

▶夜中に街中をぶらつく生徒も

他校から見ると〝南高の校則は甘い〟と考えられている。本当にそのとおりなのだろうか。まず、市内の高等学校の生徒手帳により本校の生徒心得と比較して、相違点を抜き出してみた。

▽浜松北高校
・上履はスリッパ・ケミカルサンダル・運動ぐつなど、自の運動ぐつを用いる。
・女子が帽子を用いる場合は、登山帽子のものとする。

▽浜松西高校
・コート類は黒・紺・カーキ色の地味な色のものとし、長さは膝おおわれるまで。

▽新貝高校
・運転免許は第三学年の学期末テスト終了後とする。

▽城南学校
・他校生・社会人とは交際しない
・女子は標準型オカッパ（または ろうあ）
・雨がさは黒・紺を使用。
・くつ下はくつ色は黒のみ。

▽市立高校
・かさ・レインコートは黒か紺。

▽聖心高校
・アルバイトは期間が長期・冬期休業中の三分の一以内で、生徒にふさわしく、成績・生活態度等が満足でなければならない。

▽興誠高校
・コート場・シャンパーは白・黒・紺・グレー・茶系の無地とする。
・長髪の合図は、横ちかないようにする。もちろんは過度にそり落とす。ひげを剃ることは認めない。

▽女子高
・黒のストッキングは十二月末までとする。
・飲食店は自宅以外は大衆食堂以外はいってはいけない。喫茶・酒場は許されない。但し公園内はなどの限りでない。
・映画館・劇場は十・日曜に限り生徒二人以上の同学年で入場することができる。

▽総合職業訓練校
・職業訓練に支障のない場所。

▽浜松高等職業訓練校
・校内活動禁止。

市内の高等学校全体を対象としたのだが、多種多様な結果が出られた。このように、市内だけでこれほど違いがあるのだから、全国ではもっと違ってくるだろう。その他の学校でも本校に似なようなものがあるのかなと思っていた。

ある高校では、四二歳男性教師が会校生徒の前で校長を殴ったことである。服装だけでなく、男女交際についてもかなり厳しい学校もある。

北、西高は共学校であるというが、その他の学校は本校に比べると厳しいようである。

アンケート調査の結果を聞くと〝校の規則は厳しい〟と答えた人が随分いるのだが、こうして他校と比べてみるとかなり自由な学校であることが分る。

普通科と商業の高校の規則らいて相違点はあるが、それは、免許制、アルバイトなどの自由さなどがあったが、それはどこ一般の学校では無則に等しいようである。

南高は規則が緩やかな学校だ、と言われているが、実際はどうであろうか……。結論を一言で言ってしまえば、やはり規則は厳しい。

本校の校則違反の取り締まりには、少し厳格がある。校内生活において、ある一般的な規制（例えば服装など）は、あまり厳しくなく、先生の観察というのも少ないのであるが、こと校外で問題を起こした場合には、まさに〝厳罰〟に処せられる。これは学校の感情と名誉を守る、という意味も含まれるため、この学校でも同様なのだが本校はその規模が非常に大きいのである。このことがどうのこうのというわけではないが、一般にスクールカラーが厳しく言われている本校にも、他校にはない特徴があったのである。

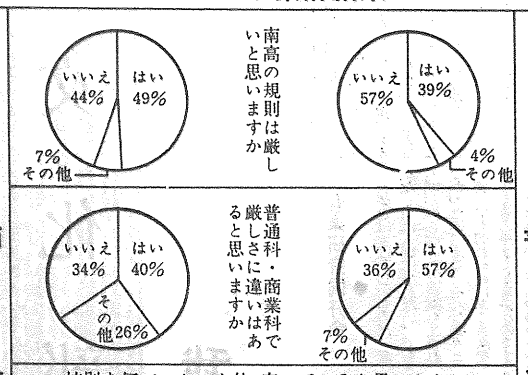
規則一般について何人かの先生に意見を伺ったが、校則というものは学校生活において絶不可欠なものであり、それを守るのも当然の義務として、本校の生徒はよく守っている。しかし、一部の者が多かった。この特集では、校則についての批評などを考えた。無論、矛盾している点などを、抜擢するのも良い。しかし、自分で認めているものには責任にはゲンきだろう。そうしてこそ、先輩たちが今までの十九年間に求め続けてきた真の〝浜松南高校〟をつくることができるのだ。

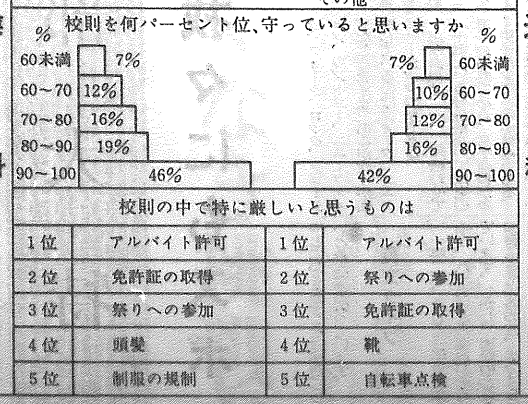
特集総評

〝南高は規則が緩やかな学校〟と一般に言われているが、実際はどうであろうか……。結論を一言で言ってしまえば、やはり規則は厳しい。

本校の校則違反の取り締まりには、少し厳格がある。校内生活において、ある一般的な規制（例えば服装など）は、あまり厳しくなく、先生の観察というのも少ないのであるが、こと校外で問題を起こした場合には、まさに〝厳罰〟に処せられる。これは学校の感情と名誉を守る、という意味も含まれるため、この学校でも同様なのだが本校はその規模が非常に大きいのである。このことがどうのこうのというわけではないが、一般にスクールカラーが厳しく言われている本校にも、他校にはない特徴があったのである。

アンケート集計結果





校則の中で特に厳しいと思うものは

1位	アルバイト許可	1位	アルバイト許可
2位	免許証の取得	2位	祭りへの参加
3位	祭りへの参加	3位	免許証の取得
4位	頭髪	4位	靴
5位	制服の規制	5位	自転車点検

南高運動部健闘

◇第二十六回西部地区剣道大会（8月16日開催）

《剣道部》

〝第三位〟

▽一回戦
不戦勝

▽二回戦
浜南 4―1 浜西

▽三回戦
浜南 3―2 磐南

▽四回戦
磐南 5―0 浜南

◇スポーツ祭浜松地区大会（10月10日開催）

《女子ハンド部》

〝優勝〟
浜南 8―5 気賀

▽決勝
浜南 15―6 二俣

◇県スポーツ祭（少年A女子）（11月3・8日）

〝第三位〟

▽準々決勝
浜南 9―6 御殿場

▽準決勝
静岡北 13―10 浜南

▽三位決定戦
浜南 18―10 藤枝西

以上が低迷している浜南運動部の息を吹返してくれた二つの部である。他の部活もこれに負けじとがんばってほしいものである。

〝ファイト浜南〟

チーズケーキと
チョコレートケーキ
ヨーロッパケーキの
まるたや
静岡県浜松市鍛冶町96番地
電話 浜松(0534)52-1496 53-4708

きめ細かな心づかいでお世話
受験用旅館・ホテル
●受験生の方々に安心してお泊りいただける静かで交通便利な旅館とホテル。全国の主要大学所在地にあります。
●お1人でもグループでも、また学校単位でもお申込みいただけます。
旅はふれあい
Nice to Meet You

あなたの街の交通公社です
日本交通公社 浜松支店
〒430 浜松市鍛冶町2（西武デパート前）
●みどりのダイヤル（国鉄券）
●航空ダイヤル
●お泊りダイヤル（宿泊券）
0534(53)2111
●国内旅行・エース 0534(53)2117
●海外旅行・ルック 0534(54)6981
●団体旅行
営業時間 10:00～18:00 土曜日10:00～13:00（日曜 祝日休業）

ジャズ・ロック・フォークの店
エレキ・アンプ・キーボード・フォークギター
楽譜（ロック・フォーク）豊富にそろえました。
ロック座　ぞくぞく入荷中！
トレーナー・Tシャツ・ワッペン・アクセサリー・シール
音出しOK！
谷島屋3F　楽器コーナー
浜松市連尺町26　TEL 53―9121　夜8時まで

★話題の本と話題の情報
三省堂書店
本店　浜松市大工町142 TEL 54―0231
浜松市平田町52 TEL 52―8501

地域の皆様に愛される店を!!
をモットーに頑張ります。
スーパー
グリーソ
いぐち
県立浜松南高校前
浜松市法枝町616
TEL 41―0050

文化部大特集

我々にもスポットを

次第に日が短くなってきた今日この頃、どの部活も導くまでがんばっているようです。華々しい運動部とは違い文化部は成果があまりはっきりあらわれず、目立たない存在かもしれませんが、各文化部ともそれぞれの目標をもち、目標に向ってがんばっています。そんな文化部の状態を知ってもらいたくスポットをあててみました。

音楽研究同好会

音楽とはすばらしいものだ。音楽なしでは人間は暮れない。でも人間が作らなければ音楽も生まれなかったのである。そんな我々とは切っても切れぬ縁にある音楽を愛する者の集まりが音研なのです。さて音研といってもクラシック、フォーク、ロック、フュージョン、カントリー、ニューウェイブなどさまざまであるが我々が集指しているのはフォーク、ニューミュージックの類である。

現在会員は、一、二年合わせて二十名という音研始まって以来の最多会員数である。女子会員が多く男子が少ないのが悩みである。去年とは全く逆じゃねーかっ！

▲練習に励む管弦楽部

やとにかく来年こそは部活にしたいとみんな張切っています。

英文タイプ

一年、二年、そして三年生を加えると、八十名ほどの部員がそろっています。しかし、実際のところ二十五台ほどしかありませんのでそれでも今はなんとやっています。普段は練習に来る人があまり多くありません。でも、検定が近くなるとみんなあせりを感じ、タイプ室は熱気でむんむんしてくるのです。今はその時期で、土曜日にも、必死で練習を続けています。先生も精神力を入れてくれています。時々、様子を見に来てくれたり、検定までの練習計画を練ってくれました。今年の計画に従って練習しています。このようにご普段は熱心ではありませんがやる時には一生懸命がんばっています。よろしく。

管弦楽部

僕ら管弦楽部は、はっきり言って"ヘタクソ"かもしれない。いままで、僕たちは完全に演奏にのめりこんでしまっていたのです。

毎週日曜日、某テレビ局の「オーケストラがやって来た」という番組を見ていますが、演奏後静まりかえる会場に、拍手が鳴き起こる場面がとても印象的です。そしてこれは、クラッシック音楽のコンサートのドラマであるのです。南高校体育館でもこの日、このドラマが展開されました。

演奏後、会場は一瞬静まりかえる。一瞬といっても第三者が見れば、ここにいる聴衆は拍手をしないのか、という恐怖感を抱かせる。そして、その長い一瞬の後拍手がなっと沸き起こるのである。この現象を説明するのは簡単である。聴衆が完全に演奏にのめり込んでしまって、拍手をすることすら忘れているのです。

南高校でもこの日この現象が起こったのです。

私たちは完全に演奏さんをはじめとした四人の皆さんの感うがまに操られていたのです。

休憩時間もとらずに行った第一時間半近くのコンサートを無が長いなあ、早く終れ、なんて感想をもらしたでしょうか。

演奏後、その時は処々で聞かれましたが、どの場所でも「よかった。」という言葉が聞かれました。

やはり音楽の中でクラッシックの存在とは偉大なものなのです。これを機会にクラッシック音楽を改めて理解してみる、ともすばらしいことですね。

感動のため息!!

名曲への招待

＜芸術鑑賞会＞

浜松南高校とはどんな学校…

「浜松南高校とはロックとねりの学校だよ。」

これは今年、湖東高校に転任なさった先生のお残しになったお言葉です。一部の生徒にはかなりの衝撃に値するようなお言葉ですね。

しかし、先生がこう言いたくなる理由を全くわかるわけではありません。

ラジオのスイッチを入れるとエレキギターがうねりをあげているし、来日するミュージシャンも年々増しているのです。そしてそれらを喜んで受け入れているのは他ならぬ私たちなのですから。またそれらの影響を受けてかアマチュアバンドも南高には数多くあります。今やロックは高校生には最もポピュラーな音楽の一つであると言っても決して過言ではないでしょう。

そんな中で、去る十月三十一日南高において音楽鑑賞会が行われました。

これは、現代に生きる若者に音楽というものの根源とも言うべきクラッシック音楽を聞かせ、音楽の本当の意味でのすばらしさ、美しさ、楽しさ、そして偉大さを理解させようと、先生方が主催なさったものです。

ところがこの音楽鑑賞会、正直言って当日まであまりいい噂は流れていませんでした。芸術科目で音楽を選択しているがクラスのK君でさえも

「音楽鑑賞か。退屈そうなあ。まあ居眠りでもしてるか。」

と嘆くありさまでした。

さて、当日。そんな噂を打ち砕かれるかのようなすばらしい音楽鑑賞会が行われました。

これと言った出物もなく地味なバンドやフルートを吹くだけのものであるとしたが、ロックのコンサートで味わったエネルギーに満ちあふれ、凝縮された空間とは全く違うクラシック独特の空間が体育館を漂っていました。

鑑賞会後、教室に戻ってからもまだ、

「退屈だったなあ。」

などと言っている人もいましたが、おそらくロックから出任せでしょう。誰一人としてあの空間に引き込まなかった人はいないでしょう。誰もが歌に演奏に酔されていたのです。

▲美声よ天高く！

これは、クラッシック音楽のコンサートのドラマであるのです。南高校体育館でもこの日、このドラマが展開されました。

演奏後、会場は一瞬静まりかえる。一瞬といっても第三者が見れば、ここにいる聴衆は拍手をしないのか、という恐怖感を抱かせる。そして、その長い一瞬の後拍手がなっと沸き起こるのである。この現象を説明するのは簡単である。聴衆が完全に演奏にのめり込んでしまって、拍手をすることすら忘れているのです。

南高校でもこの日この現象が起こったのです。

私たちは完全に演奏さんをはじめとした四人の皆さんの感うがまに操られていたのです。

休憩時間もとらずに行った第一時間半近くのコンサートを無が長いなあ、早く終れ、なんて感想をもらしたでしょうか。

演奏後、その時は処々で聞かれましたが、どの場所でも「よかった。」という言葉が聞かれました。

やはり音楽の中でクラッシックの存在とは偉大なものなのです。これを機会にクラッシック音楽を改めて理解してみる、ともすばらしいことですね。

万歳！全員完走

浜風を頬に受けて

マラソン大会

"バーン"という音がしたかと々であったが、皆様々の全力を出し尽くしていたなっであり、その姿を見ていたなっ先生の口から、思わず、

「言いってことはっぱいいなあ。私がもう少し若ければ一緒に走ってやるのだがなあ。」

という言葉がこぼれた。

ここでもう一度、コースを振り返ってみると、スタートは体育館を出て、門を出て、男子は半田長橋、女子は車庫の方をまわり、再び今度はゴールとなっているグランドへ戻ってくる、という男子一万メートル、女子六千メートルのもの。県の駅伝大会にも使用されるなど環境的にはとても恵まれたコースを、いっぱいもっとることができる会後、我々生徒には、考えるべきが悪しかったとも思う。

今年は、一年生の活躍がとても目立つ。例えば男子の個人順位上位入賞者20名のうち、半分の10人が一年生である。そして全員参加、全員完走をなしとげたのもHR、HRというあるように一年生である。今年の一年生は、運動面における先生方の評価も高いようで、HRごとに良くまとまっているようである。

さて、心配されていた事故などは、まるで起こらなかったということを聞かれない。この面においては大成功の大会と言えるのだろうか。最後に残った問題は、見学者の数である。年々増加の傾向にあるのであるが、これは問題がとやかく言ってもはじまらない。少なくとも来年こそは、少しでも見学者を減らすよう、一、二年生は健康管理に気を付けておいて欲しいものだ。

◇　◇　◇

◆個人別上位入賞者（上位学年）

（男子）

優勝　鈴木　通信（21HR）
一位　赤野　智司（12HR）
三位　青葉　潤志（14HR）
四位　水野　浩伸（23HR）
五位　桜田　敦久（21HR）

（女子）

優勝　鈴木　郁代（13HR）
一位　菅林　尚美（29HR）
三位　飯田　美佐（33HR）
四位　野島かつみ（27HR）
五位　大場　亨子（13HR）

◇　◇　◇

◆HR別順位

（男子）

優勝　23HR
一位　15HR
二位　22HR
三位　36HR

（女子）

29HR
18HR
13HR
36HR

▲「ファイト！」「一発」

編集後記

師走の冷たい風が、肌を刺す今日この頃、期末テストも終わり、皆さんはほっとしていることでしょう。毎年この時期になると、一年の短さをひしひしと感じます。我々新聞部員一同の心の中には、この一年間に発行した南高新聞のお粗末さに対する悔の念が充満しています。皆さんにうけるものそして、より読みやすい新聞作りを目指してきたわけですが、それが、皆さんの目にはどのように写ったでしょうか。

今回の第49号南高新聞は、前回までのパターン化された構成を、新しく変えてみたり、内容もより身近な、軽いものを多く取り入れてみました。まだまだ荒ぎりで考慮すべき点の多い新聞ですが、過去のものとは間違いなく違っています。特集のテーマも、より身近なものを、ということで、"校則について"ということになりました。できるだけ多くの人から意見を聞き、多くの資料に基づいて作ったものです。

今回の発行を一つのステップとし、より多くの人の意見を反映できるようにしてゆきたいと思っています。そうすることによって、意見は言うことのできない不満や意見などを、学校側へぶつけることも可能になるのです。校内での生活環境を少しでも良くするために、ひいては南高全体の発展のために、わが"南高新聞"は一つの柱となるでしょう。そのために皆さんの協力や意見が必要なのです取り上げて欲しいテーマや意見があったら、わが新聞部へ連絡して下さい。なお今回の編集に御協力を下さった皆さん、どうもありがとうございました。

明るい雰囲気

先生家庭訪問

十一月十七日（火曜日）、放課後、私達新聞部は、部の顧問である山本昇平先生のお宅を訪問した。

住吉町にある先生のお宅に着くと二階から長男の洋平君（四ケ月）の泣き声が聞こえてきた。奥さんの夏子さんは、洗濯物を抱えた姿で、突然訪問した私達新聞部を迎えてくれた。

「あら、今日だったの」

それが、私達が初めて聞いた奥さんの明るい声であった。

「上ってくれ」と言う先生の声で、私達は、緊張なったまま、二階へおじゃましました。

洗濯物を抱えていた洋平君は、やさしいパパに抱かれとかわいい笑顔を見せてくれていた。

▲山本昇平先生宅にて

「ムーミン」を見ていた長女の律子ちゃん（二歳）は、我々の姿を見るとお母さんの後に隠れてしまった。人見知りをしたようだ。律子ちゃんのお父さんがつけられたそうだ。洋平君の方は、初め考えていた名前が間に合の時つけられないと知って慌て考えた名前とか。聞いてみなければわからないもので、私は初めから奥さんの名の"ヨウ"と先生の"ヘイ"を取ってつけたものと思っていた。

こたつに足をのばし、リラックスしたところで、質問を、その間にも、兎角騒がしいがちな雰囲気を、奥さんの一言一言が和らげてくれたようだった。洋子奥さんに昇平先生について伺った。

「几帳面ね。ホラ神経質でしょ。（と同意を求められた。）短気で、でも子供が生まれたら変わったわね。（と、洋平君の頭をのぞき込んでは目を細めている先生を見て）お父さんとしては、いいですね。」

やさしいお父さんであることは、律子ちゃんのお父さんに言える様子からもわかる。二人のかわいい子供に囲まれた先生は、しあわせそのものだった。今度は、奥さんについて、先生に伺った。

「結婚前はもう、いわゆる朝ねる女性だったな、子供が生まれはり主婦らしくなったと思うよ。」

[illegible]子ども子供が生まれてから変わったらしい。その前はよくケンカをした、と奥さんが付け加えてくださった。だい[illegible]者に着いてくると部屋の中を見回す余裕ができた。流石国語の先生本棚には、文学全集や古典のテキストなどきっしりと詰まっている。ところどころに、"釣り"や"野球""将棋"の趣味の本が並べられていた。ふと、千春のテープが目に入った。「松山千春、アリスなんか好きだよ。演歌も聞くけどね」先生が松山千春を聞いて、意外に思ったのは失礼だったろうか。

授業の前になると予習すると言う先生の！トを見せていただいた。一日四時間勉強する先生のノートは、きれいにまとめられその八割くらいが授業になるとか。それを聞いた以上授業をしっかり受けねばという気になってきた。

突然訪ねてしまって、「お化粧する間がなかった」と奥さんは気にしてらしたが、そのままでも十分綺麗でした。

子供達には、「人に好かれる素直な子、小さい事は気にしない大きな事を考える子になってほしい。それは、南高の生徒に対しても同じ思いだと言っておられた。

またたいろんな話をしてくださった先生、私達にもう一度訪ねてみたいなと、思わせる、明るい山本先生のお宅でした。

メガネの相談、視力検査はお気軽に
当店へ。
良い品がどこよりも安い
パイオニアメガネ
☎56－2838

朝早くパンの香りが流れる街角。
朝早くからパン職人が生地を練り、常に新鮮で高品質なパンをお客様の手にお届けするため、真心こめて造っております。
あなたのお好みのパンは？ フランスパン、デニッシュ・ペストリー・食パン…？
焼き上がったばかりのパンをあなたの食卓に！
シャンボール
有楽街本店 浜松市青町159 TEL54－7541㈹
CHAMBORD
3F レストラン シャンボール
2F カフェ シャンボール
1F フレッシュベーカリー シャンボール
B1 パブ・レストラン 映画館

NOW
今だからできること。
それが青春の証だ。
PRACTICE
かけがえのない若さに
エビアは熱い声援を送ります。
エビアはファッションと文化の出合う広場。
遠鉄名店ビル EPIA
浜松市田町321☎(0534)54-3131㈹

スキーウエアーが安いよ!!
糀屋運動具店
KOGIYA 有楽街 TEL53—0636

はいんなよ
新聞部
部員募集！1年歓迎